当行は、株式会社国際協力銀行法(以下「当行法」という。)第26条の2の規定に基づき、同条に掲げる業務ごとに経理を区分し、それぞれ勘定を設けて整理しております。また、当行法第26条の3及び会社法第435条第2項の規定により当行が作成する勘定別の計算書類については、当行法第26条の3及び会社法第436条第2項第1号の規定により、新日本有限責任監査法人の監査を受けております。以下の勘定別貸借対照表及び勘定別損益計算書は上記の計算書類に基づいて作成したものでありますが、勘定別キャッシュ・フロー計算書については監査法人の監査を受けたものではありません。

## 特別業務勘定

## 第6期末(平成30年3月31日現在)貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金 預 け 金	249, 919	その他負債	210
預け金	249, 919	未 払 費 用	2
貸 出 金	1, 023	前 受 収 益	0
証 書 貸 付	1,023	金融派生商品	0
その他資産	190	金融商品等受入担保金	200
前 払 費 用	5	その他の負債	7
未 収 収 益	6	賞 与 引 当 金	4
金融派生商品	174	役員賞与引当金	0
その他の資産	4	退職給付引当金	6
貸倒引当金	△22	役員退職慰労引当金	0
		負債の部合計	222
		(純資産の部)	
		資 本 金	251, 000
		利 益 剰 余 金	△286
		その他利益剰余金	△286
		繰越利益剰余金	△286
		株主資本合計	250, 713
		繰延へッジ損益	174
		評価・換算差額等合計	174
		純資産の部合計	250, 888
資産の部合計	251, 110	負債及び純資産の部合計	251, 110

【特別業務勘定】

第6期

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

損益計算書

(単位:百万円)

		科			目			金	額	🖂 /3 [ ]/
経		常		収		益			2	
資	金	迢	1	用		収	益	1		
貸		出	金	-	利	J	息	1		
預		け	金	Ξ	利	]	息	0		
そ	$\mathcal{O}$	他	$\mathcal{O}$	受	入	利	息	0		
そ	の	他	経	ŕ	常	収	益	1		
そ	$\mathcal{O}$	他	$\mathcal{O}$	経	常	収	益	1		
経		常		費	Ì		用			207
資	金	訓	司	達	;	費	用	0		
金	利	スワ	ツ	プ	支	払 利	息	0		
そ	$\mathcal{O}$	他	$\mathcal{O}$	支	払	利	息	0		
役	務	取	引	2	等	費	用	14		
そ	$\mathcal{O}$	他	0)	役	務	費	用	14		
営		業		á	経		費	169		
そ	の	他	経	ŕ	常	費	用	22		
貸	倒	引	当	金	繰	入	額	22		
経		常		損	Į		失			204
当	期		純		損		失			204

## 第6期

(単位・百万円)

<del></del>	(単位:百万円)
科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
当期純損失(△)	$\wedge 204$
当朔飛頂犬(△)    貸倒引当金の増減(△)	22
賞与引当金の増減額(△)は減少)	0
員子引ヨ金の増減額 (△は減少) 役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	0
投員員子引ヨ金の増減額(△は減少) 退職給付引当金の増減額(△は減少)	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0
資金調達費用	0
<sub>貝</sub> 並媧建負用 貸出金の純増(△)減	△1, 023
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△1,025
資金運用による収入	0
資金調達による支出	$\triangle 0$
その他	200
小計	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	48, 500
財務活動によるキャッシュ・フロー	48, 500
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47, 501
現金及び現金同等物の期首残高	202, 409
現金及び現金同等物の期末残高	249, 911